

「本郷貝塚出土縄文土器及び石器」

埼玉県指定有形文化財（考古資料）
平成12年3月10日指定

本郷貝塚（埼玉県選定重要遺跡）は、縄文時代前期から平安時代に至るまでの大規模な複合遺跡です。これまで4次にわたる調査が行われ、縄文時代前期の貝塚を伴う住居址、後期の土壇、古墳時代前期の住居址、平安時代の鍛冶炉を持つ住居群などが発見されています。



この土器群は、第2次調査で土壇から一括出土しました。折り重なった深鉢の破片の下に蓋付注口土器と完形の注口土器2点が発見され、何らかの意図を以って埋納されたものと推測できます。特異な出土状況と合わせ、縄文時代後期堀之内式土器の良好な一括史料として貴重です。



撮影：小川忠博氏

※松伏町役場ロビーに常時展示されています。

※貝塚は個人の所有地です。見学の際はご注意ください。また、土器などの遺物を採取することはお止めください。